

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	20	学校名	静岡県立浜北特別支援学校	記載者	八幡 正信
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア 安全・安心	人権を尊重し合い、笑顔あふれる学校生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の心を捉えた声掛け、励まし、称賛、対話を心掛けている教員 100%</li> <li>・相手を意識して自ら笑顔で挨拶や感謝の言葉を伝える児童生徒、教員 100%</li> </ul>	A	A	<p>○「笑顔あふれる学校」が学校運営の根本であると思う。「笑顔あふれる学校」は児童生徒だけでなく、教員も事務職員にも求められる。この点で「明るい雰囲気作り」ができているものと思う。</p> <p>○読ませていただき、改めて求められている生徒と教師の関係性が変化していることを知りました。挨拶や「さん」付といった表面的なものも大事。それ以上に子ども達にとって教師は数少ない親以外のロールモデルであり、皆さんの生き方や考え方に触れることで、多様な価値観を知ってもらうことは彼ら彼女らの人生への大きな財産になっていくのだらうと思いました。素晴らしいお仕事だと思います。</p> <p>○児童生徒にとって「楽しくて行きたくなる場所」を提供して下さっていることが、校内を見学している中で伝わってきます。</p> <p>○帰りの会で一日の頑張りを褒めたたえたりあいさつ名人の表彰など、生徒さんの意欲を引き出される取り組みが成果となって良かったと思います。</p> <p>○楽しくいきたい場所であり続けることは、福祉の事業所でも難しさを感じています。生徒さん個々の感性に合わせながら、全員にとって魅力的な学校であり続けてください。</p> <p>○笑顔は対話する関係の入り口になるので、笑顔が増えると対話も増えると思います。</p> <p>○対話は相手の話を聞いて、自分の考えや行動を修正して、相手に寄り添うことです。</p> <p>○声掛けももちろん大切ですが、児童生徒から話すこと、話を聞くことを意識した取り組みになるとよい取り組みになると感じます。</p> <p>○「学校は楽しい、学校に行きたい」と答える児童生徒 100%の目標に対して、生徒の評価を継続して取ってはいかがでしょうか。</p> <p>○全体として達成状況は素晴らしいと思いました。</p> <p>●課題の中でスマホトラブル、教師のモラルがあがっていたことが心配だと思いました。</p> <p>●他学年、グループ、学部などの異なる集団との交流の機会を可能である限り増やしていってほし</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・重大ないじめ0</li> <li>・「学校は楽しい」「学校に行きたい」と答える児童生徒 100%</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒にとって分かりやすく活動しやすい学習の場となるように校内、教室内の整理整頓をしている教員 100%</li> <li>・確実な安全点検と迅速な対応をしている教職員 100%</li> </ul>			

					<p>いです。現状では放課後デイサービスの利用などにより、異学年の児童生徒とコミュニケーションをとる機会がありますが、どうしてもことばの習熟度などにより交流する相手が限定される傾向があるため、検討をお願いしたいです。</p>
	<p>命を守る 実践的な 安全体制 の整備と 実践力の 向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発災時、緊急時の自分の動きを具体的に想定できる教職員 100%</li> <li>・医療的ケアを含むヒヤリハットの活用による重大な事故 0</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○天災の対応等の準備はできているが、本番の時に稼働するよう一段の準備が必要かもしれない。</li> <li>○できれば定期的に心肺蘇生などの手技訓練をさせていただけるといいかと思えます。</li> <li>○日常より定期的なチェック等ができていることにより、トラブル等を未然に防ぐことに繋がっていると感じています。</li> <li>○避難訓練の設定をいつもと違う環境での場面に浸取組は形骸化せずにより取り組みだと思う。</li> <li>○収納が少ない中、安全面に配慮して物の置き場を確保するのは難しいかもしれませんが、ヒヤリハットの取組を活かして工夫できるとよい。</li> <li>○避難訓練は災害の状況や被災の想定を変えると、マンネリ化せず緊張感をもって実施できると思えます。</li> <li>○整理整頓は「3定」で、置く物と量を決め、置場を明示して、不用品やチョイ置きを無くしましょう。</li> <li>●継続して行うことは大変だと思いますがぜひ続けていってほしい。</li> <li>●交通ルールの厳格化については保護者を含めた上での周知徹底ができることを期待します。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の命や健康を自分で守るための取組ができた児童生徒 100%</li> <li>・通学途上の事故 0</li> </ul>	A		
イ	<p>児童生徒が夢中になる」「分かる」喜びを実感できる授業づくりの展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体の調和を図り、学部間／学年間の系統性を実現する教育課程が整理できたと考える教員 100%</li> <li>・自立活動（「時間の指導」「各教科等を合わせた指導」）の充実を図ることができたと考える教員 100%</li> <li>・PDCA サイクルを生かした授業を実践できた教員 100%</li> <li>・「対話」をとおして学び合い授業づくりや生徒指導に生</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特支学校には児童生徒の子に応じた対応が求められるが、授業などを観察するとこれが達成されているように感ぜられる。</li> <li>○様々な段階のお子さんへの授業で皆さんが工夫されている様子を垣間見させていただきました。</li> <li>○児童生徒にとって魅力的な楽しい授業を提供してくださっていると感じています。</li> <li>○先生方が力を発揮される最たる部分だからか成果の内容から熱意が伝わってきました。日々変化しながら成長していく生徒さんに合わせた授業づくりは大変だと思いますが頑張ってください。</li> <li>○自立活動分析シートやメンターの存在、ICTの活用方法と悩みは福祉の現場でも共通する部分なのでまた機会があればお話を聞かせてください。</li> <li>○先生方の授業づくりに対する強い思いと、互いに学び合う意識の高さを感じています。</li> <li>○いろいろな研修や検討を通じて設定された授業内容に対して、生徒の学習意欲に対する変化を捉えて、さらに意見交換や検討が進むことを期待しております。</li> <li>○先生方が大変勉強をされている様子が分かりました。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>かした学年・グループ 100%</li> <li>・校内・校外研修の学びを授業づくりに生かした教員 100%</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ICTを活用することに固執せず…」という課題の指摘があったが、すでに ICTを活用している先生から出たコメントであれば素晴らしいことだと思いました。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICTを活用して自ら学習に取り組むことができたと考える教員 100%</li> </ul>			
	地域で生きていくための力やその基盤を培うキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が授業・行事等で役割をもって強みを発揮できる取組の場を設定できた学年、グループ 100%</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員が他学部のことを知ることは、学校全体を知ることであり、キャリア教育にも大きく影響するものと思う。</li> <li>○子ども達の自主性を重視されている様子がよく分かりました。</li> <li>○児童生徒がそれぞれの「できること」から上手く役割分担ができていたと感じました。複数年で自分の子ども以外のお子さんを見ていて「今年はこんなことまでできるように成長したのか」と感動することもあります。</li> <li>○「児童生徒さんの好きや得意、挑戦したい気持ちを活かした役割や授業づくりをこれからも続けてください。</li> <li>○生徒個人の役割を、クラス、学年、地域へと犯意や関りを広げることで、より大きな生きる力や達成感につながると思います。</li> <li>○行事を通じて、仲間や協力の大きさが学べるとよいと思います。</li> <li>○他の学部間での交流ができて良かったと思いました。学部ごと大変だと思いますが、継続していただきたいと思いました。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他学部の教育活動を知ることができた教員 100%(参加者自身の体験、参加者の報告から)</li> </ul>			
ウ 連携・協働	地域等と目標を共有し地域資源を活用した教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会からの助言、支援を共通理解している教職員 100%</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域資源を特に「学校周囲の人的資源」と捉えた場合、ボランティア等の面から十分に達成できていると思われる。</li> <li>○中瀬四区の「けやきの会」をはじめ、保護者以外の地域の方々が学校の活動に協力して下さることに保護者として感謝申し上げます。</li> <li>○「地域資源」という言葉は学校側から地域を目的達成のための手段と捉えているような少し冷たいイメージを感じます。「地域の力」「地域活力」など別の表現を考えてもいいのではないかと。</li> <li>○つながりの多い学校だと理解しています。これからもアンテナを外に向けてさらなるつながりを広げてください。</li> <li>○外部サポーター等他の意見の共有はよい取り組みだと思いました。</li> <li>●学校運営協議会に多くの先生に参加いただき、忌憚なくいろいろな意見交換ができるとよい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域等の「人・もの・こと」とつながる取組を実現した学部 100%</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・双方の成長を促した交流活動ができたと考える教員、保護者、交流先各校 100%</li> </ul>			

				<p>●先生方の取組は、行動力や気づきなど、大変すばらしく思います。一方で、教育委員会は行政と連携し、地域企業の支援を得ることを後押しすべきと感じています。</p>
<p>地域へ貢献できる活動の設定と児童生徒の魅力の効果的な発信</p>	<p>・地域から肯定的に評価される活動が設定できた学部 100%</p>			<p>○本校は物心両面から開放的な学校であり、保護者にも地域住人にも理解されている。 ○中瀬四区のしゃべらまい会と学校の交流の一環として行われたゲームの体験により、生たちが児童生徒の発想を取り入れて、さらに内容を進化させたとの報告を受け、代表が感激をしていました。互いに刺激し合いながら高め合っていることは、単なる交流ではない新しい関係の域に達したと感じています。 ○児童生徒の皆さんの絵画作品などこれからも中瀬コミュニティーセンターに掲示して来場される皆さんに見てもらいたいと思っています。 ○年末に行われた高等部生徒による冬の交通安全運動では、生徒さんの受け答えが立派にできており、企業に就職しても職場の皆さんに認めてもらえるような仕事をしてくれるのではないかと頼もしさを感じました。</p>
		<p>・発信相手（保護者、地域の方）を意識し、魅力ポイントを明確にした内容を発信することができた学年、グループ 100%</p>	<p>A</p>	<p>A</p> <p>○卒業生の中に近くのマックスバリューで品出しをやっている女の子がいます。寒い店内で黙々と仕事をしている姿を見ていると、職場の同僚から認められ、自信をもって働いていることが想像されます。 ○8年度に実施予定の学校全体でのけやき祭で生徒さんの更なる活躍の場ができることが楽しみですね。 ○高校野球は仲間や地域に誇れる挑戦でした。 ○高校野球への参加等はおおきなPRでした。 ○MPは学校を知るなど目的をもって見る人用、インスタは行事や生徒を見る学校関係者用の様にすみ分けてはいかかでしょう。 ●保護者と地域の方々には支援学校では一致していないことが多いと思いますので、より多くの交流を意識的に行ってほしいと考えます。 ●学校見学会を開催し、地域企業をお誘いしてはいかかでしょうか。</p>

エ チ ー ム ・ 信 頼	働きやすい職場環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話をとおして相互理解や安心感が得られた教員 100%</li> <li>・所属部署内／所属部署間でお互いを認め合い、助け合いができた教職員 100%</li> </ul>	A	A	<p>○「アの安心・安全」と同様に「笑顔あふれる学校」になっているものと思われる。</p> <p>○学校の職場環境を語る上で、主語を教員とせず様々な職種を視野に入れることが肝要です。看護師に関しては劇的に改善した様子が彼女らの表情・言動からも伝わってきました。</p> <p>○先生方の「働き方改革」が進むことで、時間的にゆとりのある状況となることを期待します。これを実現させるお手伝いのひとつとして、外部サポーターに学校で発生する業務を代わりに遂行してもらいことに保護者としてできることを検討していきたいです。</p> <p>○水曜日の定時退庁など、勤務時間を守るための施策が導入されていますが、実際には仕事の持ち帰りがあり、教員の自宅での仕事が増えているのではないかと危惧しています。実情はどうなのか、アンケート調査などで把握することも必要ではないかと思えます。</p> <p>○児童生徒さんにとって、魅力ある学校であり続けるために先生方にとって働きやすい職場環境であることは必要不可欠なピースだと思うので、これからも互いの違いを認め合いながら支え合ってください。</p> <p>○様々な人と場の組み合わせで、いろいろな対話が、知識や安心感につながっている様です。</p> <p>○風通しの良い風土があると思えます。</p> <p>○問題や異常時のエスカレーションも、Bad news first で初動や早期改善に動けるとよいと思う。</p> <p>○難しい問題ですが、コミュニケーションを含め進めてもらいたいと思いました。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事 0</li> </ul>			<p>○AI 活用による業務の効率化は革命的だと思います。外部講師の導入、業務の査定ができるとうい。</p> <p>○成果が得られた取り組みを継続しながら、どうしても忙しい時期もあると思いますが負担を分散しながら支え合ってください。</p> <p>○意識を変えることは難しいため、行動を変えましょう。</p> <p>○働き方を、制度やツールなどでやり方を変えていくことです。</p> <p>○難しい問題ですが、やめることリストは大切だなと自分のことも含め思いました。</p> <p>●資料作成や帳票類をやめること、具体的にいくつかできたでしょうか？</p> <p>●AI アシストツールの試行結果はどうでしょうか。気になるところです。</p> <p>●協力は惜しみませんが、本来であれば国の予算で解決すべき事案であると考えています。国を待っていたら、子ども達は大人になってしまうので、応急処置的なものだと考えてもらいたいです。</p>
エ チ ー ム ・ 信 頼	児童生徒と触れ合う時間や授業研究の時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムマネジメントができた教職員 100%</li> <li>・勤務時間内に授業づくりや事務処理の時間が確保できた教員 100%</li> </ul>	A	A	<p>○AI 活用による業務の効率化は革命的だと思います。外部講師の導入、業務の査定ができるとうい。</p> <p>○成果が得られた取り組みを継続しながら、どうしても忙しい時期もあると思いますが負担を分散しながら支え合ってください。</p> <p>○意識を変えることは難しいため、行動を変えましょう。</p> <p>○働き方を、制度やツールなどでやり方を変えていくことです。</p> <p>○難しい問題ですが、やめることリストは大切だなと自分のことも含め思いました。</p> <p>●資料作成や帳票類をやめること、具体的にいくつかできたでしょうか？</p> <p>●AI アシストツールの試行結果はどうでしょうか。気になるところです。</p> <p>●協力は惜しみませんが、本来であれば国の予算で解決すべき事案であると考えています。国を待っていたら、子ども達は大人になってしまうので、応急処置的なものだと考えてもらいたいです。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定時間内に終了した会議 100%</li> </ul>			<p>○AI 活用による業務の効率化は革命的だと思います。外部講師の導入、業務の査定ができるとうい。</p> <p>○成果が得られた取り組みを継続しながら、どうしても忙しい時期もあると思いますが負担を分散しながら支え合ってください。</p> <p>○意識を変えることは難しいため、行動を変えましょう。</p> <p>○働き方を、制度やツールなどでやり方を変えていくことです。</p> <p>○難しい問題ですが、やめることリストは大切だなと自分のことも含め思いました。</p> <p>●資料作成や帳票類をやめること、具体的にいくつかできたでしょうか？</p> <p>●AI アシストツールの試行結果はどうでしょうか。気になるところです。</p> <p>●協力は惜しみませんが、本来であれば国の予算で解決すべき事案であると考えています。国を待っていたら、子ども達は大人になってしまうので、応急処置的なものだと考えてもらいたいです。</p>

様式第5号